

抗がん薬投与中の患者さん、ご家族（介護者）の安全管理について

抗がん薬は、種類にもよりますが、体内に入ってから完全に排泄されるまで、48時間かかるといわれており投与後しばらくの間、尿や便に残ります。尿や便に直接触れても健康に害を及ぼすようなことは、まずありませんが、可能な範囲で構いませんので、以下の対策をお取りください。

対策が必要な期間

- 抗がん薬投与後7日間。
- 内服抗がん薬を服用されている場合は、最終内服日から7日間。
- 膀胱内注入療法の場合は、注入後当日のみ。
- 免疫チェックポイント阻害薬のみの場合、対策は不要です。

日常生活の注意

- 男性の方も、洋式トイレに腰かけて排尿して下さい。
- 尿が、床や便器にこぼれた場合は、トイレトペーパーで綺麗に拭き取り、トイレに流して下さい。
- 洋式トイレの蓋がある場合は、蓋をしめて水を流して下さい。
- トイレの水量・水圧が不十分な場合は、2回流すようにして下さい。
- トイレの後や排泄物が手についた際は、流水、石鹸で手をよく洗って下さい。

排泄物（尿、便）、嘔吐物等に関する注意

- ストーマ用品や、おむつ等の処理は、手袋（使い捨てのもの）を着用して下さい。ビニール袋に2重に入れて口元をしっかり閉じ、密閉して一般ごみとして廃棄して下さい。
- 処理後は、流水、石鹸で手をよく洗って下さい。

排泄物や吐物で汚れた衣服・寝具等の取り扱い

- 洗濯物は、家族の物と別にし、洗濯用洗剤にて2回洗濯をして下さい。
- 直ちに洗濯ができない時は、汚れた物をビニール袋に2重に入れて、口元をしっかりと閉じておきましょう。

抗がん薬がこぼれた時の対応

- ポートを留置して、在宅にて抗がん薬を投与されている方は、事前に手袋、ビニール袋を準備しておきましょう。
- こぼれが生じた場合は、手袋をして取扱いましょう。処理後は、石鹸を用いて流水で手を洗いましょう。